

評価 5 : 良い 4 : やや良い 3 : 普通 2 : やや不十分 1 : 不十分

令和2年度 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校 教職員自己評価結果 (21人)

教育方針	「親切・正直」の校訓のもと、豊かな知識と技術を身につけ、美しい情操と強い奉仕の心を持ち、賢く、淑やかで、優しさや思いやりの心を大切にする女子の育成に努める。			評価 (人)					評価平均
	教育目標	努力目標	具体的な取り組み	5	4	3	2	1	
1 豊かな人間性の育成	(1) 生徒指導の充実	・挨拶や服装など、基本的な生活習慣の定着を図る。 (学年集会・立哨実施・校外指導 など)	1	9	10	1	0	3.5	
		・校内教育相談体制の充実を図り、スクールカウンセラーと協力し定期的なカウンセリングを実施する。	3	12	5	1	0	3.8	
	(2) 進路指導の充実	・系列上級学校への進学者数の増加。キャリア教育の推進。課外授業・面接指導・就業体験などの実施。	2	7	9	3	0	3.4	
	(3) 道徳教育の充実	・無監督試験の導入。教育活動全般を通して、道徳心や公共心及び社会的マナー等を身につける。	3	15	3	0	0	4.0	
	(4) 人権教育の充実	・道しるべ(道徳教本)や特別活動を通して、人権意識やモラルを高める取り組みを推進する。	0	9	10	1	1	3.3	
2 確かな学力の定着	(1) 基礎・基本の定着	・基礎的・基本的な学力の定着のため、個別学習や習熟度別学習などで、個に応じたきめ細かな学習指導を実施する。	5	10	6	0	0	4.0	
	(2) 指導方法の改善	・新しい教育課程の趣旨を踏まえて、教材作成や指導方法を工夫し、よりよい授業を実践する。	1	9	11	0	0	3.5	
	(3) 指導力の向上	・コース制の導入を見据えた教育の質の向上及びシラバス作成、公開授業、教育研修などを通して、教員の指導力の向上を図る。	1	5	15	0	0	3.3	
3 健康や体力を育む教育の推進	(1) 部活動の充実	・生徒のニーズに応じた部活動の展開や地域との連携を図る文化部・運動部活動を活発化する。	0	4	9	7	1	2.8	
	(2) 安全教育の充実	・飲酒・喫煙・薬物等の防止教育の実施。(薬物乱用防止教室の実施など) ・避難<防災>訓練の実施。(火災・地震・不審者など) ・交通安全教室の開催。	5	7	9	0	0	3.8	
4 地域に根ざした教育の推進	(1) ボランティア教育の推進	・介護ボランティア活動や環境美化ボランティア活動を積極的に推進する。 介護施設ボランティア・地域清掃ボランティアなど)	0	7	10	3	1	3.1	
	(2) 地域との交流教育の推進	・地域の小・中・大学との交流を深め、地域行事への積極的な参加を図る。 出前事業・部活動交流・校庭桜の開放など)	0	3	15	1	2	2.9	

教務部	教育課程内規	コースの設定や特色を生かした教育内容の具現化したプランの検討と共通理解	○コースの特色を生かした教育内容を位置付けた授業シラバスを作成し、次年度の学習指導計画を検証する。また、3年間を見通した計画、目標設定、コースの特色を生かした内容の検討をする。 ○系列上級学校との接続連携における特色ある教育内容についての具体案の検討をする。 ○検定合格に向けた目標設定と資格取得プラン等を位置付けた教科の学習指導計画を検証をする。 ○新学習指導要領に対応した教育課程の実施に向けて、今後の方向性を見据えながら授業シラバス、学習指導計画について協議と検討を重ねる。	1	9	8	3	0	3.4	
		年間授業時間数の確保と調節・管理	短期・中期・長期の視点で年間行事の適正な時間配分と調整を行い、時間割の調整・変更を行い授業時間数の確保に努める。また、チャイム指導が実施されているかの検証と授業時間の確保のための工夫をする	1	10	10	0	0	3.6	
		内規の検討	成績規程・規準の検討をし、慣例化されたものの文書化を推進し、教職員に周知徹底を図り、内規の整備に努める。	0	10	9	2	0	3.4	
	学習計画	各教科のシラバスに位置付け	○シラバスにおいて、授業内容と授業時間数が達成され、検定合格に向けた目標設定と資格取得プラン等の計画が実施され、教科における特色ある授業内容やキャリア教育の実践として学習指導計画に基づいて実施されているかを検証する。 ○次年度に向け、コースの特色を生かした教育内容を位置付けた学習指導計画、ICT活用を見据えた学習指導計画、次期学習指導要領に向けた学習指導計画など、今後の取組事項を考慮しながら次年度のシラバス作成しているかを検討する。 ○簿記の4単位増への目標設定と資格取得に向けたプラン等を見据えた学習指導計画であるかを検証する。 ○「書道」、「音楽」の3年間を見通した計画、目標設定、特色等を生かした教育内容を位置付けた学習指導計画であるかを検証する。 ○1年次学校設定科目「奥の細道」、「被服」の設置の意義・意味を考えた学習指導計画であるかを検証する。	0	8	13	0	0	3.4	
		無監督試験の検証	無監督試験の検討と改善を図り、PDCAサイクルを確立するための検討をする	3	10	7	1	0	3.7	
	情報管理	学習活動に必要なICT活用方法の検討	ICT環境整備ワーキングチームと連携し、ICT環境の整備方針・活用についてのビジョン・方向性および本校ICT教育推進のための中期計画により、今年度はICT機器の活用研修や、ICT機器の運用や試行をし、各教科がICTを活用した学習活動を検討し、次年度以降に教科等の指導におけるICTの活用ができるように計画を推進する。	2	4	15	0	0	3.4	
		校務の情報化と情報セキュリティ対策の推進	○データ漏洩等がないようにデータ管理・対策等を取り、個人情報等の紛失や流出等を予防するため情報セキュリティ対策の推進をする。 ○校務の情報化と共有化を図り、データなどの効率的な運用と文書の保管をするための環境整備を推進する。	2	11	5	3	0	3.6	
	生徒指導部	風紀	基本的生活習慣の確立	生活自戒の意義を十分に理解させ、毎日復唱させ自主的に実践できるようにさせる。校則厳守を徹底指導する。定期的に立哨指導等を実施し、生徒に自主的にきちんとする気持ちを持つように指導する。遅刻者、退学者の減少に努める。	1	8	11	1	0	3.4
			指導体制の確立	教職員の共通理解をもって、生徒理解に努め、相互に協力、連携を図り、組織的に対応する。	2	8	11	0	0	3.6
		安全教育	安全教育の充実	交通安全教育を始め、薬物乱用（喫煙を含む）、情報（携帯・ネット）等の正しい知識を理解させるために、関係機関に講演を依頼し実施する。火災、防災訓練を実施する。	7	7	7	0	0	4.0

生徒指導部	保健教育相談	教育相談の充実	面談の機会を通して、生徒本人改善点の指摘のほか、良い点、成長点などを築かせる面談。保護者からの情報を活用し、協力しながら問題等の解決に努めると同時に保護者の気づいてない良い点を伝える面談。担任、養護教諭、カウンセラー等を中心に情報を交換し、連携を図り、早期の対応に努める。研修会等の導入。	2	11	8	0	0	3.7
		生徒の実態に応じた保健指導	個々の生徒の実態を把握した指導によって、健康の維持・増進を図る。保健だより等の有効活用。	4	9	8	0	0	3.8
進路指導部	進学指導	個々の生徒の実態に応じた進学指導の展開	自己の個性を理解させるために、適性や特性、能力の発見に関する体験(進路調査、進路行事、学校見学参加等)を実施し、選択、決定をすることができる力をつける。	1	10	10	0	0	3.6
			幅広い進路に対応できるように校外模試を実施する。実施時期や業者等を検討する。	1	7	11	2	0	3.3
		愛国学園上級学校への進学率 30%を目指す	上級学校3校へのバス見学会、出前授業、個別相談会、進学説明会等を実施する。	0	8	12	1	0	3.3
	就職指導	適性、能力等、個々の生徒の実態に応じた就職指導の展開	進路に対する意識を高めるために、各種ガイダンスを実施し、その体験、経験を通して将来について考えさせる。	1	8	11	1	0	3.4
			ハローワークなどの関連機関と協力して、個々の生徒の実態に応じた就職指導を展開する。	3	10	8	0	0	3.8
	進路学習	個々の生徒の実態に応じた学習指導の展開	総合的な学習の時間(2学年)を通して、進路に対する興味・関心を高める。	1	6	14	0	0	3.4
			インターンシップ・一日看護体験等を実施し、望ましい勤労観、職業観の育成を図る。	0	7	13	1	0	3.3
	図書	生徒の読書量を増やす	全校生徒に読書の記録をさせ、各学期ごと冊数を確認、上位者を表彰して読書意欲の向上を図る。担当教員と図書委員の当番制をとり、図書閲覧室での貸し出す冊数を増やす。より多くの生徒が本に触れられるよう移動図書を充実させる。	4	11	5	0	1	3.8
特活部	学友会	学友会の活性化	マナーアップ運動や交通安全運動等、外部機関や地域と連携し様々な活動に参加し地域に貢献する。学校行事では中心的役割を果たし行事を成功に導く。親切募金、自然災害被災地への募金活動などボランティア活動への積極的な取り組みを主導する。	1	6	11	3	0	3.2
	部活動	部活動の活性化	各部、より多くの部員を確保し、活動の正常化に努めるとともに、公式試合への積極的な参加を目指す。他校、多団体との交流により合同練習の機会を設け活性化に努める。	1	8	7	5	0	3.2
環境美化部	環境保全	校舎内外の清掃活動の徹底	清掃時間は、生徒・職員全員で協力し合い清掃する。	7	6	6	2	0	3.9
		地域清掃活動の実施	学校周辺・通学路のゴミ拾いを計画し実施する。(年3回、全校一斉)	2	6	12	1	0	3.4
		冷暖房機の管理	各管理者に冷暖房機使用上の注意と安全な使用を徹底してもらう。	2	10	8	1	0	3.6
		草花・樹木の管理	草花の管理や簡単な剪定・刈り込み作業を計画的に行う。 ※高木は業者依頼	6	7	7	1	0	3.9
		学校環境衛生検査の実施	定期的に学校薬剤師と共に、学校内の環境衛生検査を行う。また、適性を欠く事項があると認められた場合には、その改善に努める。	8	8	5	0	0	4.1

環境美化部	整備営繕	各教室の美化向上	各クラスの整備・美化に努めてもらう。	3	11	5	2	0	3.7
		備品の管理	各備品を丁寧に使い、新規購入を最低限に抑える	2	12	6	1	0	3.7
	防災安全	災害時の迅速行動の周知・徹底	災害に備え、避難訓練を実施する。（火災時・地震時想定）	4	8	9	0	0	3.8
			災害時の避難・帰宅経路を生徒各自に確認させ、訓練を実施する。	4	9	7	1	0	3.8
渉外部	宣伝報	あいりゅうニュースHPの充実	あいりゅうニュースに関しては職員だけでなく母師会広報委員や生徒へも記事の提供など協力を求め、保護者だけでなく、外部の人達（中学校）へも学校の様子・生徒の様子が詳細に伝わるように内容を充実させ、発行回数を増やす。	4	12	5	0	0	4.0
			HPに関しては各行事が終わるごとに担当者の協力（記事や写真の提供など）を得て速やかに更新し、外部へのアピールを強化する。	2	10	8	1	0	3.6
	母師会同窓会	開かれた学校づくり	保護者が参加できる学校行事（マラソン大会・創立記念祭・文化祭・球技大会・研修旅行など）を通して保護者との連携を図り、協力してくれる保護者を増やす。	0	8	11	2	0	3.3
			HPなどを活用し、卒業生に向け本校の現在の活動状況など情報を発信するとともに、卒業生からの情報も集まるよう工夫していく。	0	4	14	2	1	3.0
入試広報室	生徒募集	受験生の増員	2つのコース制（特に保育福祉コースを中心とする）や愛龍高の特色を全面的にアピールして募集活動に全力で取り組む。中学校訪問や塾訪問は担当者を決めて実施するが、入試行事等においては教職員全員に一人ひとりが広告塔となるよう努力してもらい、受験者数200名を目標とする。	1	9	10	1	0	3.5
		入試行事の充実	学校見学会、オープンスクール、進学フェア、入試説明会等の各行事における内容や配布資料などを見直し、昨年度より全てにおいて充実させる。また、普段から校内に花を置くなど、常に女子校らしい雰囲気づくりに努め、来校する受験生や保護者のイメージアップを図る。	3	13	4	1	0	3.9
		インターネット出願の充実	昨年度より導入したインターネット出願の充実を図り、出願者がより利用しやすいものに改善する。	2	14	5	0	0	3.9
事務部	会計	正確性・継続性への努力	学内での報告は正確かつ迅速に処理する。	1	7	13	0	0	3.4
			外部（対官庁等）への報告は正確に行う。	1	8	12	0	0	3.5
			学園運営のための事務遂行の円滑化を図る。	2	6	13	0	0	3.5
			光熱水料費の経費5%削減を心がける。	0	8	11	2	0	3.3

事務部	施設防災 管理	物を大切に扱う	施設・設備の点検を行う。	1	7	12	1	0	3.4
	スクール バス	運行の円滑化を図る	安全な運行計画。	9	7	5	0	0	4.2
			登下校時の乗降当番の時間徹底。	3	12	6	0	0	3.9
	文書收受 受付	来客・配達物への 適切な対応	来客者に対して親切・丁寧に対応する。	6	10	5	0	0	4.0
配達物を迅速に正確に処理する。			5	9	7	0	0	3.9	
学 年	3 年	責任ある生活態度の醸成	最高学年として規範意識を高く持たせ、社会生活に適応する能力・技術を身につけさせると共に、何事にも積極的に取り組む姿勢を養う。	3	11	7	0	0	3.8
		進路の吟味と自己実現	進路に対する意識の向上に努め、個々の能力・適性に合った進路を選択、決定するために、保護者と連携した進路指導を展開する。	1	13	6	1	0	3.7
	2 年	自覚ある生活態度の確立	2年生としての責任と自覚を持たせ、後輩の模範となり、挨拶・礼などが積極的にできるように努力させる。	0	8	10	3	0	3.2
		「なりたい自分探し」から 「なりたい自分になる決意」	コース別を生かし、将来の進路に対する意識を高めさせ、生徒それぞれの希望に合った進路選択ができるように指導する。また、それぞれの目標が達成できる様、授業ややるべき事に積極的に取り組ませる。	0	12	8	1	0	3.5
	1 年	基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻をすることもなく、落ち着いて学校生活を送れるよう導く。また、挨拶・礼・返事などを徹底させるとともに、級友と協力し自ら進んで物事に取り組む姿勢を身につけるよう導いていく。	0	14	5	2	0	3.6
		進路探求と学習意欲の向上	予習・復習の大切さを理解し、自ら学ぶ意欲を持たせ、成績の向上に努めさせる。HRやガイダンスなどを通して自分の将来に関心を持たせ、自らに適したコース選択ができるよう導く。	0	14	6	1	0	3.6